

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害用井戸設置事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	大津 真規			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時における生活用水の確保を図る。
事業内容	災害時における生活用水の確保を図るため、指定緊急避難場所・指定避難所となる小・中学校や公民館等に災害用井戸を設置するとともに、既設の災害用井戸について水質検査を実施する。また、災害用井戸に、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等からなる災害用井戸ポンプ施設の整備を検討する。			
事業開始から現在までの状況変化	生活用水確保のため、平成8年度から本事業を開始したが、平成24年5月19日に発生した断水事案を契機として、生活用水のほか、飲料水の確保についての重要性が高まっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備件数	32	32	33	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,672,940	3,398,720	8,087,840
事業費(b)(円)	3,299,940	2,056,320	6,769,440
うち一般財源	3,299,940	2,056,320	3,897,440
職員給与と費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

平成28年度に総合運動公園内の防災広場に新たに災害用井戸を設置し、平成30年度は南流山中央公園に災害用井戸を1基設置したことで、設置件数が33か所となった。
井戸の電動化については、老朽化したものや修繕が必要なものについて検討することとし、当面の間は、水質検査のみを実施する。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	既設井戸の電動ポンプ化工事は当面の間、実施せず、水質検査（浄水のみ）を実施し、生活用水の確保に努める。	③取組における課題(Check)	既存の災害用井戸の計画的な保守点検が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	既設の災害用井戸について、水質検査（浄水のみ）を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	今後も水質検査を実施する。